

■放射線部

平成16年度目標

1. 診断、治療に有用な情報の提供
 - ・専門的知識、技術の向上
 - ・スピーディかつクオリティの高い画像の作成
 - ・医師及び医療従事者間の情報交換
 - ・研究会・技師会への参加
2. 患者さんに対する接遇の徹底
 - ・適切な言葉遣い
 - ・清潔な身だしなみ
 - ・患者さんへの思いやり
 - ・苦情や質問に対しての適切な回答
3. 医療事故の防止
 - ・記載、入力時の確認の徹底
 - ・患者さんのフルネームでの確認
 - ・撮影部位、撮影方向などの確認の徹底
 - ・ダブルチェック確認の励行
4. 感染の防止と廃棄物の処理
 - ・感染に関する正しい知識の習得
 - ・手洗いの励行
 - ・撮影室、機器の清掃、消毒
 - ・マニュアルに基づいた適切な廃棄物の処理

目標実施状況

1. 各種研究会等に参加し、専門的知識・技術の習得に励み、検査においては迅速にかつ有用な画像を提供するように努めております。今後は各検査のマニュアルを作成し、より確実に有用な画像を提供できるよう継続していきたい。
2. 言葉遣い、身だしなみ等は部内の接遇委員、スタッフ間で確認を行いお互いに注意・確認するように心がけています。
3. インシデントに対し部内で検討し、確認作業の変更、ダブルチェック確認を取り入れて再発防止に努めています。
4. 照射録に感染症の有無を記載してもらい、撮影前後の手洗いの徹底により2次感染防止に努めています。

前期（４月～９月）検査実施件数

	４月		５月		６月		７月		８月		９月		小計	
	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入
腹 部	11	28	24	16	8	26	6	18	4	16	9	18	62	122
胸 部	589	413	514	393	618	497	520	418	532	381	548	354	3,321	2,456
軀 幹	2	1	7	7	0	1	3	1	2	5	3	2	17	17
四 肢	1	4	0	1	2	1	2	1	1	6	1	0	7	13
胃	3	0	0	0	0	0	1	0	1	0	10	0	15	0
注 腸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胆 嚢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腎 臓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
気 管 支	0	4	0	1	0	6	0	4	0	1	0	3	0	19
アングリオ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
C A G	0	1	0	4	0	8	0	3	0	5	0	2	0	23
P T C A	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
P T A	0	3	0	5	1	1	0	1	0	0	0	2	1	12
シャント	5	1	2	2	4	1	1	0	1	3	1	3	14	10
マ ン モ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	2	0	6	1	6	0	4	0	1	0	6	1	25
合 計	611	457	547	436	634	548	533	450	541	419	572	391	3,438	2,701
（内CR）	603	446	545	418	629	525	531	439	539	408	561	375	3,408	2,611
ポータブル	87		71		106		113		116		84		577	

前期（４月～９月） C T検査実施件数

	４月		５月		６月		７月		８月		９月		小計	
頭 部	5	11	4	7	3	22	9	28	7	17	5	10	33	95
頸 部	0	2	0	2	0	1	0	3	0	3	1	1	1	12
胸 部	139	65	128	76	143	85	145	74	156	52	129	51	840	403
腹 部	3	9	5	9	1	10	6	21	9	18	7	12	31	79
骨 盤	0	1	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	1	4
椎 骨	2	0	1	1	0	1	0	2	0	0	0	1	3	5
そ の 他	0	3	1	0	0	0	0	4	6	4	8	1	15	12
合 計	149	91	139	95	147	119	160	134	179	95	150	76	924	610

前期（４月～９月）使用フィルム枚数

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	小計
C R	1,321	1,168	1,439	1,183	1,142	1,176	7,429
C T	2,015	1,626	2,330	2,009	2,000	1,623	11,603
４切	29	0	2	10	32	123	196
DUP 半 切	20	0	44	30	97	22	213
DUP 大 角	43	31	32	20	112	18	256
CD-R	25	31	48	30	38	24	196
計	3,428	2,825	3,847	3,252	3,383	2,962	19,697

研究発表

画論 '04 16列／8列マルチスライスCT部門へ出展

CT画像データを基に診断に有用かつ病変の描出度が高い画像を作成し、臨床的有用性、画質、撮影方法、画像処理方法、などを評価・採点されます。

今年度は、

- ・奇静脈拡張の3D画像

造影剤のアーチファクト軽減のため足背静脈からの造影を行い、3D表示する事により奇静脈を明瞭に表示し、立体構造の把握も容易となった。

- ・気管支結石のVR・VE画像

VR上で気管支に沿ったカッティングを施し、枝のつながりと結石の位置関係を表現

の2点を出品しました。

気管支結石のVR・VE画像で上位入賞を受賞しました。

参加した研修会・講習会

7月 ・第19回北海道ヘリカルCT研究会

一般演題 9題

特別講座「腹部領域におけるマルチスライスCTの臨床活用」

9月 ・技師会学術研修会

「救急医療の実際」

「救急、小児におけるCT撮影のポイント」

- ・第10回北海道造影画像セミナー

「消化器系疾患のMDCT診断：2Dから4Dまで」

「肺癌画像診断の現状と将来」

- ・第397回札幌肺を診る会

「炎症 VS 腫瘍」

- ・第426回札幌胃と腸を診る会

症例検討

放射線技師会や医師会、製薬会社共催によるもので短期間の研修に参加しています。今後は長期間の研修や技師会の全国学術大会などに参加して、循環器疾患や慢性呼吸器疾患などの専門的な知識を習得し、多様化した所見等に診断に有用かつ描出能の高い画像を提供できるように勉強して行きたいと思います。

これからの展望

病院の新体制に伴い、放射線部でも新しいスタッフが加入して新体制となり、一般撮影・透視2名、CT2名、ポーター撮影・血管造影室検査・受付補助2名を基本体制として検査を行っております。初めは、呼吸器の一部（肺癌の診療・治療）、健診センターの移動や療養病棟の開設等により戸惑い・不慣れ等がありましたが、スタッフ間ではもとより各部署との連携をとり、常に診断に有用な画像を提供できるように努力して行きたいと思います。